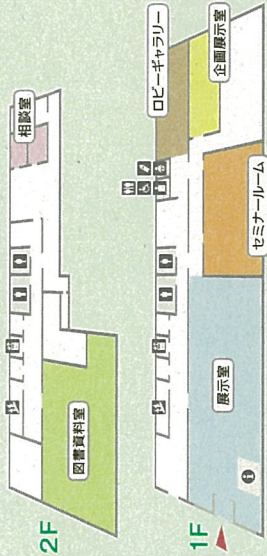


【本館資料3-5】

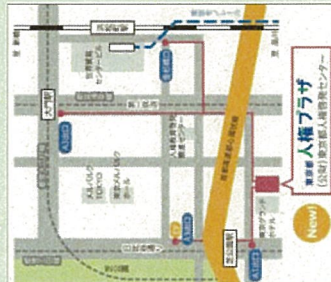
写真展 「人権という希望」

東京都人権プラザ
平成29(2017)年2月16日
港区・芝に移転オープン

東京都人権プラザは、東京都が設置した人権啓発のための施設です。主な施設として、①展示室、②図書資料室、③セミナールーム、④相談室があります。東京都人権プラザは、公益財団法人東京都人権啓発センターが指定管理者として管理運営しています。



東京都人権プラザ
〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6
芝256スクエアビル1・2階
9時30分～17時30分
日曜日、年末年始
URL <http://www.tokyo-hrp.jp>
Tel 03-6722-0123
Fax 03-6722-0084



<交通案内>
● 都営三田線「芝公園駅」A1出口
徒歩3分
※車いす・ベビーカー等ご使用の方はA3出口エレベーターをご利用ください。
● 都営浅草線・大江戸線「大門駅」A3出口徒歩7分
● JR・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口徒歩8分

11人の写真家がいま、伝えたいこと

- 宇井眞紀子 高松英昭 片野田 斉
- 落合由利子 松澤コウノスケ 趙 根在
- 大西暢夫 橋本弘道 石川武志
- 太田順一 亀山 亮



© Hideohi Katano

会場 東京都人権プラザ企画展示室

期 2017年3月15日(水)～8月19日(土)

無料/日曜休館(展示替え期間閉室)/開館時間9時30分～17時30分

主催 ● 東京都人権プラザ [指定管理者・公益財団法人東京都人権啓発センター]

写真展

「人権という希望」

11人の写真家がいま、伝えたいこと

「人権」。それは戦争をはじめとした苦い経験とそれに対する反省をもとに、人類が獲得してきた財産です。私たちは誰もが生まれながらにして自由であり、自分らしく生きる権利を平等に持っているのです。



© Hideohi Takemitsu

しかし、東京、日本、そして世界各地で人権の侵害が繰り返されています。例えば、人種や性別、障害などを理由にした差別や、家庭や学校、会社での虐待、いじめ、ハラステメントは後をたちません。さらに、貧困や紛争、

災害によって暮らしが脅かされ、多くの生命が奪われています。

私たちは文化や考えも異なる多様な人々と共に生きています。ですから、互いを認めあい、人権を尊重しあわなければなりません。そのためには、他者に対する理解と関心、そして想像力を育むことが不可欠です。そのとき、写真は確かな力を持つと考えます。

写真家は社会が目を背ける現実のなかで生きる「人」に對峙し、レンズを向けます。そうした一枚の写真が、見る者の心にとまり、共感や想像力を働かせる原動力となることがあるのです。

この度、東京都人権プラザ企画展として、3人の写真家、宇井眞紀子、高松英昭、片野田 斉の監修のもと、3期に分けて8人の写真家による写真展を開催いたします。本展を通じて、一人でも多くの方に、人権という人類の希望の実現へつなげる扉を開く、一枚の写真に出会っていただくことを願っています。



© Makiko U

世界人権宣言【第1条】

すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならぬ。

